

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	あおぞらクラブ6		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 4日 ～ 2025年 4月 4日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2025年 3月 4日 ～ 2025年 4月 4日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・外遊びを通して、思いっきり体を動かし、基礎体力を付けていくこと。	・公園を中心とした外遊びを日課にしている。体幹の弱い子どもがブランコやジャングルジムの遊具で徐々に遊べるようになっていくまでに、体幹がしっかりするだけでなく、心も充実し次への「やってみよう」という気持ちに繋がっている。体を動かすことの気持ち良さや爽快感が、生活リズムに良い影響を及ぼし感情の安定にも繋がっている。	・公園の遊具を使って遊ぶが、職員は見守りではなく、どのように働きかけていくのかを考えて引き続き実行していく。
2	・いろいろな取組を通して、友達同士の関係を築き、一緒に楽しく過ごせる力を身に付けること。	・子どもが好きな遊びを職員も一緒になって楽しみ、たっぷりと遊びきること。その次に友達一人、また一人と少しずつ仲間を増やしていけるような、楽しい遊びを投げかけ友達同士の関係を気付いていけるような取組を工夫している。例えば、綱引き、みんなで滑り台、鍋鍋底抜け、鬼ごっこ、大縄跳び、しっぽ取り等、定期的に実践会議を開き、集団遊びの計画、振り返りを行っている。	・子どもの心が動く主体的な取り組みを立案し、継続していく難しさがある。一人一人の発達年齢に応じた遊びを考えていくことを大前提にし、そこに職員がどのように関わっていくのかが重要と考える。職員の専門性を身に付ける為の事例検討会や学習会を引き続き実施してさらなる充実を図る。
3	・家族の皆さんと、子どもにとって必要な支援について共に考え、共に取り組んでいくこと。	・親御さんからの相談、またこちらが子どもの状況で気になったことは連絡を取って話を聞き、問題の解決に向けて取り組んでいる。定期的に開催している保護者交流会で、家族が知りたい情報の学習会を実施している。	・家族からの意見や要望を受け止め、引き続き必要な支援について共に考え取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の育成	・子どもを理解しようという意識を高めて、子どもの要求を受け止める。	・子どもが何を考えているのか、どう感じているのかを知りたいと思うこと。子どもの気持ちを想像することの想像力を養う学びを計画的に実施していく。その上で、遊びの充実、質の高い実践へと努力していく。
2			
3			